

## 第4章 歴史文化資産保存活用の基本方針

### 1 基本理念

本構想策定の目的を踏まえ、歴史文化資産保存活用の基本理念を次の通り掲げる。

なお、本構想における「保存活用」の言葉は、「保存」「保全」「整備」「活用」「育成」の全てを含む言葉として使用する。

寿都町の歴史・文化を町民が身近に感じ、  
自分達の歴史文化を発見し、活用し、  
未来に継承することで、魅力的なまちづくりを目指す

過去のもの、他人事としてある歴史・文化ではなく、町民みんなが、寿都町の歴史・文化を身近に感じられるようにしていく。

町民自らが身近な歴史文化を見つけ、学び、これからの寿都町の未来につながるものとして、自分達、子ども達、外の人達に広く伝え、活用していく。

そうすることで、かけがえのない寿都町の歴史文化を守り、まちのアイデンティティを高め、子どもの教育や観光・まちづくりにつなげていく。

### 2 基本方針

寿都町に所在する「歴史文化資産」の特徴や、保存活用にかかる現状・課題等を踏まえ、次に掲げる基本方針により基本理念の実現を図る。

#### 基本方針1

町民一人ひとりが身近な歴史文化資産＝「寿都のお宝」を再発見・再認識し、みんなで共有する

まず、町民一人ひとり、あるいは地域ごとに、草の根で地域に眠る歴史文化資産を探し、幅広く把握・蓄積して目に見える形<データベース>にしていくことで、歴史文化資産をみんなで共有していくことを第一の方針とする。

ここで、町民が、歴史文化資産を身近なものとして感じ、親しみを持って取組に参加していけるよう、寿都町では、歴史文化資産を「**寿都のお宝**」と名付け、そのデータベースを「**寿都のお宝データベース**」と名付けることとする。

## 基本方針2

関連する歴史文化資産＝「寿都のお宝」を、有形・無形・周辺環境も含めて関連文化財群＝「寿都のお宝箱」としてとりまとめ、これらをわかりやすく伝えることのできる歴史的・地域的関連性をストーリーとして示すことで価値・特色・魅力を高める

次に、データベース化したいくつもの歴史文化資産＝「寿都のお宝」のうち関連するものを取りまとめ、それぞれの魅力を高め価値をわかりやすく伝えていくために、「関連文化財群」として認定する。「関連文化財群」とは、さまざまな「寿都のお宝」を歴史的・地域的関連性（ストーリー）に基づいて一定のまとまりとしてとらえたもので、寿都町では、「関連文化財群」のことを「寿都のお宝箱」と名付けることとする。

また、寿都町では、3章の寿都町の歴史文化の特徴で整理した通り、歴史的・文化的関連性に加え、地域ごとに育まれた特有の歴史文化、地域固有の歴史文化資産＝「寿都のお宝」が存在することから、関連文化財群＝「寿都のお宝箱」は、「①寿都町全域にわたるもの」と、「②歴史文化地域ごと」の2階層で設定することとする。

## 基本方針3

より多くの町民参加のもと、歴史文化資産＝「寿都のお宝」について学び、守り、活かし、伝えて、地域コミュニティの維持発展や教育・観光を含めたまちづくりに活かす

個人や地域での日常的な歴史文化資産＝「寿都のお宝」の継承から、魅力付けを行った関連文化財群＝「寿都のお宝箱」の活用による学校教育・生涯学習の充実や観光振興など、まちづくりにつながる取組を、より多くの町民参加のもと協働により推進する。

そのため、歴史文化資産＝「寿都のお宝」の掘り起こしや調査・研究を行う勉強会、「寿都のお宝」や「寿都のお宝箱」の推薦・提案等を行う町民・専門家・行政が参画する会議体といった「寿都のお宝」の保存活用体制を整備する。

歴史文化を活かしたまちづくりに町民が親しみを持って参加し、まち全体で取り組むことを目指し、「寿都のお宝」の推薦や「寿都のお宝箱」の検討・提案を行う組織を「すつつ湾お宝会議」、「寿都のお宝」の掘り起こしや調査・研究を行う組織を「すつつ湾お宝勉強会」と名付けることとする（※組織体制の詳細はP 54）。

「寿都のお宝」をまちづくりに活かして行くには、必要に応じて、お宝の「保存整備」「保全整備」「復原（復元）整備」、「防災・防犯対策」、さらには、安全性確保やお宝を見えやすくするような「環境整備」などを適宜実施していくことが考えられる。その際は、お宝そのものの履歴をきちんと調べるとともに、整備の記録を残すこと、また、整備や対策、活用においては、本来の価値を損なわず尊重することが重要である。

### ＜すつつ湾お宝会議・勉強会のゆらい＞

寿都町が面する寿都湾は、大きな円弧を描くような地形を形成しており、寿都湾に集まる魚類により漁業が盛んに行われたり、寿都湾に注ぐ朱太川の水の流れが人々の生活を潤し、寿都湾にだし風が吹き込んだりと寿都町を特徴づけるお宝の一つとなっている。

また、寿都町全体が寿都湾を囲みながら集まっているような地形となっていることから、町民みんなが会議に参加している様子を連想し、「すつつ湾お宝会議」「すつつ湾お宝勉強会」と名称が付いた。



### ＜寿都町における名称の設定＞

| 歴史文化資産（歴史資産データベース） | 寿都のお宝（寿都のお宝データベース）    |
|--------------------|-----------------------|
| 関連文化財群             | 寿都のお宝箱                |
| 組織体制               | すつつ湾お宝会議<br>すつつ湾お宝勉強会 |

## 3 具体方策

基本方針に基づき、「寿都のお宝」の保存活用に関して以下の方策を展開する。

### 【基本方針1：具体方策】

#### ○「寿都のお宝」のさらなる掘り起こし（調査・研究の充実）

- ・ 「すつつ湾お宝勉強会」を定期的を開催し、継続的に「寿都のお宝」の掘り起こしや調査・研究を実施
- ・ お年寄りへの聞き取り調査の実施
- ・ 小・中・高校生参加の調査の実施
- ・ 既往収集資料の再調査・整理の実施 など

#### ○「寿都のお宝」データベースの構築と適切な情報管理

- ・ 本構想策定期間中に整理した「寿都のお宝」および、今後、「すつつ湾お宝会議」で認定する「寿都のお宝」のデータベースは、寿都町教育員会で管理する。
- ・ 新たに実施する調査などで得られた「寿都のお宝」はデータベースに加え、継続的にデータ更新を図る。

#### ○収集した資料等の保管・展示方法等の検討

- ・ 調査研究により収集された資料等の保管・展示について、デジタルアーカイブ化なども含め、適切な管理と共有のための手法を検討する。

## 【基本方針2：具体方策】

### ○「寿都のお宝」の魅力を高めるストーリーの検討

- ・「すつつ湾お宝勉強会」などで収集した関連する「寿都のお宝」をもとに、「すつつ湾お宝会議」においてストーリー検討を行い、「寿都のお宝箱」としての推薦・提案を行う。
- ・現時点で、ストーリーに組み込まれない「寿都のお宝」についても、データベースで管理し、単体で、さらには継続的な「寿都のお宝」の掘り起こしにより関連性のあるものが見いだされた際には新たにストーリーを検討するなど保存活用に努める。

## 【基本方針3：具体方策】

### ○個人や地域での日常的な「寿都のお宝」の継承

- ・地域での年中行事の継続
- ・郷土料理の伝承 など

### ○「寿都のお宝」「寿都のお宝箱」を活用した学校教育・生涯学習の充実

- ・「寿都のお宝」「寿都のお宝箱」を活かした学習機会の提供
- ・寿都の食を学校給食や福祉施設等の食事で提供して伝承する など

### ○守り、活かし、伝えるための町民、行政職員等の人材育成

- ・制作した映像等の活用や冊子等の町民配布
- ・町民が楽しみながら、寿都のお宝について知り、学ぶための仕組みづくり（寿都のお宝の町民向け公開の場の創出、町民の発表の場の創出など）
- ・寿都のお宝を学び活用する場や機会を企画運営する人材育成・ノウハウの蓄積
- ・「寿都のお宝」の魅力を伝える語り部・案内ガイドの育成 など

### ○「寿都のお宝」「寿都のお宝箱」の魅力を伝える解説ツール・発信ツールの制作

- ・映像等による記録制作
- ・冊子、機関誌等の制作
- ・お年寄りが語る貴重な昔話を後世に伝え残すデジタル絵本の制作
- ・ホームページの制作やSNS等の活用
- ・古写真のデジタル化と閲覧システムの構築 など

### ○「寿都のお宝」「寿都のお宝箱」を活用した観光振興

- ・先導的なプロジェクト：カクジュウ佐藤家と漁場、橋本家の取組推進
- ・見学ツアーの開催など寿都の文化財の価値や魅力を伝える機会や場の創出
- ・分散する「寿都のお宝」を有機的につなぐ観光ルートの設定 など

○「寿都のお宝」の保存活用に必要となる整備の実施

- ・ 「寿都のお宝」を適切かつ効果的に保存活用するための整備（保存整備、保全整備、復原整備、復元整備、環境整備）の実施
- ・ 整備のための履歴調査の実施および整備記録の作成 など

○歴史文化資産と周辺環境の一体的な保全活用

- ・ 先導的なプロジェクト：歌棄町有戸地区の取組推進 など

○「寿都のお宝」の防災・防犯対策の充実

- ・ 寿都町地域防災計画に基づいた、「寿都のお宝」の防災性能を高める方策の検討
- ・ 警察や消防、町内で結成されている組織との連携を密にし、地域全体での防災・防犯体制の構築
- ・ 町民一人ひとりの「寿都のお宝」への防災・防犯知識の普及
- ・ 「寿都のお宝」の周辺状況を確認し、事故等が発生した場合には早期に発見できるよう、点検や巡回を行う体制の構築 など

○事業推進のための庁内連携

- ・ 専任職員を配置した関係課の横断的な連携体制の構築 など

○町民・専門家・行政が参加した保存活用体制の整備

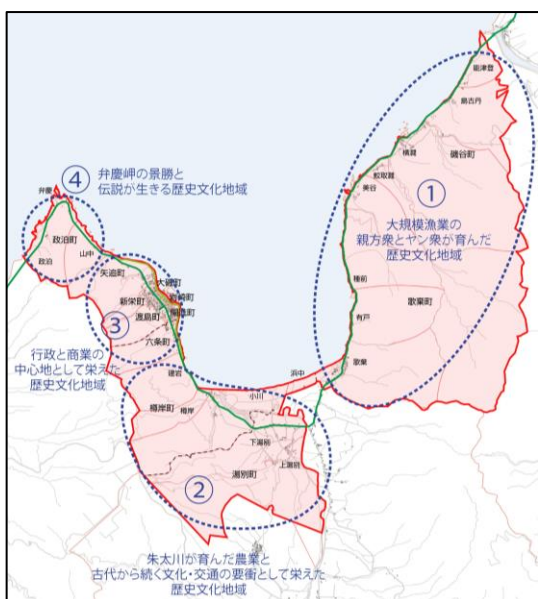
- ・ 調査委員勉強会の継続的発展による「すつつ湾お宝勉強会」および歴史文化基本構想策定委員会の継続的発展による「すつつ湾お宝会議」の組織整備
- ・ 各種団体等との連携
- ・ 小・中・高校生の参加促進 など

## 第5章 関連文化財群

### 1 関連文化財群の考え方

寿都町は、第2章で整理した通り、寿都湾を囲むように弓状に形成されており、海岸線に沿って人々が営む集落が形成されている。その特徴的な地形や自然環境が寿都特有の「寿都のお宝」を育み、各地域では、それぞれ独自の歴史的・地域の特徴を持ち、独自の人の営みを形成してきた。その営みがさらに「寿都のお宝」を生み、先祖から現代の世代へと継承され、現在の寿都町らしい環境を形成し、人と人、人と地域、地域と地域を結び付けてきた。

この寿都町らしさを形成する「寿都のお宝」は、単体で存在しているのではなく、歴史的・地域的関連性から、複数の歴史文化資産が一定のまとまりをもって存在しており、不動産、動産、



有形、無形に関わらず相互に関連性のあるこれらの一定のまとまりを、「寿都のお宝箱」(＝関連文化財群)とし、そのつながりを分かりやすく伝えるストーリーを示す。

「寿都のお宝箱」の認定においては、第4章で整理した基本方針に基づき、「①寿都町全域にわたるもの」と、「②歴史文化地域ごと」の2階層で認定する。

また、寿都町の歴史文化の特徴なども踏まえ、具体的な保存活用を考える上で内容の細分化を行い、多くの町民が理解・共有しやすいストーリー(寿都のお宝箱)として整理する。

表 寿都町全域及び歴史文化地域ごとに整理した寿都のお宝箱候補

| 地域 |                                      | ストーリー(＝「寿都のお宝箱」)候補                 |   |
|----|--------------------------------------|------------------------------------|---|
| 全域 |                                      | だし風が生んだ文化                          | A |
|    |                                      | 寿都湾を囲む地形が生んだ文化                     | B |
|    |                                      | 鯨場としての繁栄の歴史文化                      | C |
|    |                                      | 寿都鉄道が運び育んだ文化                       | D |
|    |                                      | 多様な地域の祭りの伝統文化                      | E |
|    |                                      | 海の幸・山の幸から生まれた食文化                   | F |
| ①  | 大規模漁業の親方衆とヤン衆が育んだ歴史文化地域              | 大規模漁業の親方衆とヤン衆※ <sup>1</sup> が育んだ文化 | G |
| ②  | 朱太川が育んだ農業と古代から続く文化・交通の要衝として栄えた歴史文化地域 | 朱太川が育んだ歴史文化                        | H |
|    |                                      | 交通の要衝として物と人が行きかった歴史文化              | I |
| ③  | 行政と商業の中心地として栄えた歴史文化地域                | 行政と商業、人々の営みが生んだ文化                  | J |
| ④  | 弁慶岬の景勝と伝説が生きた歴史文化地域                  | 弁慶岬の景勝と伝説が生きた歴史文化                  | K |

※1 ヤン衆…鯨漁などに雇われ働く男達のこと。

※G～Kは集落ごとに育まれた地域特有の歴史文化から導かれたストーリーである。

※「寿都のお宝箱」は、今後の検討や歴史文化資産が新たに発見されるにつれ、ストーリー名称の変更や、数が増えていくものである。

## 2 関連文化財群の認定

本構想では、構想策定期間中に収集した「寿都のお宝」と、委員会、勉強会での議論を踏まえ、関連文化財群「寿都のお宝箱」となりうる以下のA～Kの候補を示すこととする。

次年度以降、ストーリー内容や「寿都のお宝」について、町民などと協議を重ね、すつつ湾お宝会議が協議・推薦し、教育委員会が認定していくこととする。

### A だし風が生んだ文化

- ・ 低地帯を太平洋側から寿都湾へ吹き込む春から秋にかけて起こる強風を「だし風」と呼ぶ。町内では「だし風」が吹き抜け、強風の影響で枝が寿都湾方向へと向いている木々が見られる。
- ・ 歌棄町の巖島神社に収められている「風淫さん」は風をいさめる寿都らしい神様として、手にもつ鎌で強風を切り、穏やかにすると言われている。
- ・ かつては鰯が獲れる時期に吹き荒れ、何日も時化で漁に出ることができないなど、嫌われた「だし風」だが、「風力発電」によって悩みの種であった風の強い力を自然エネルギーに変えた。
- ・ 風が強い寿都地方は幾度となく大火に見舞われており、焼失を避けるために明治～大正期に「土蔵」を付設する商店が増えていった。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類     | 名称                | 所在地 |
|-----|------|---------|-------------------|-----|
| 不動産 | 空間要素 | 工作物     | 風車                | 六条町 |
| 不動産 | 景観要素 | 工作物     | 風車の景色             | 歌棄町 |
| 不動産 | 空間要素 | その他     | だし風               | 樽岸町 |
| 動産  | 無形要素 | 伝承      | だし風伝説             | 樽岸町 |
| 動産  | 無形要素 | 伝承      | 風を切る（風がおさまるおまじない） | 樽岸町 |
| 不動産 | 有形要素 | 建築物・工作物 | 風の神様（かざなぎさま）を祀った祠 | 樽岸町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物 | 住吉宅土蔵             | 磯谷町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物 | 酒井宅土蔵（現所有者小西氏）    | 歌棄町 |



風車



住吉宅土蔵



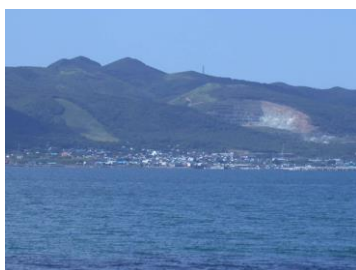
酒井宅土蔵

## B 寿都湾を囲む地形が生んだ文化

- ・ 寿都町は「寿都湾」を囲むように位置しており、その地形から「海越しに見える山」や美しい「夕日」を望むことができる。
- ・ 海岸線沿いにゴツゴツとした岩場の岩礁地帯が続いている岩石海岸で、「軍艦岩」や「とど岩」、「赤岩」など名前が付けられた岩や伝説に登場する岩がある。
- ・ がりっと＝しっかり、ねまる＝座る、休む、ずっぱり＝たくさん等、寿都町の浜言葉「寿都弁」がある。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

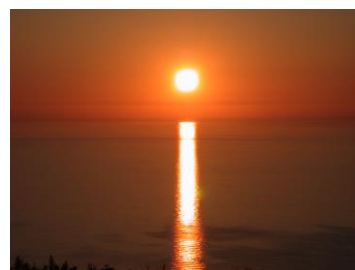
| 大分類 | 中分類  | 小分類 | 名称              | 所在地   |
|-----|------|-----|-----------------|-------|
| 不動産 | 景観要素 | 景観  | 沖から見る寿都の景色      | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 景観  | 海上から見る海岸の景色     | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 景観  | 樽岸海岸からの歌棄山並みの眺め | 樽岸町   |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 海越しに見える山        | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 寿都湾             | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 景観  | 夕日              | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 海               | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 月               | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 矢追の広い岩場         | 矢追町   |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 六開岩の海岸線         | 開進町   |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 軍艦岩             | 矢追町   |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 天狗の鼻に似た岩        | 歌棄町   |



沖から見る寿都の景色



寿都湾



夕日



## C 鯨場としての繁栄の歴史文化

- ・ 場所請負制とともに寿都は鯨の千石場所として発展していった。
- ・ 磯谷・歌棄場所最後の場所請負人、2代目佐藤栄右衛門が1890（明治23）年頃に建てた建物が現存している。
- ・ 鯨漁が盛んだった頃の名残として、海岸沿いには、大量の鯨を一時保管したり、船着き場等として使用した「袋澗」が今も数多く残る。
- ・ 江戸時代中期には寿都は日本海の航路の拠点として重要な位置にあり、大量の鯨は身欠き鯨や畑の肥料となる鯨粕などに加工され、多くの「北前船」で本州へと運ばれた。
- ・ 鯨漁に使われた「モッコ」や「こまざらい」、「ツナギツラ」などが今でも数多く残り、かつての鯨漁で栄えた様子を物語っている。
- ・ 明治初期の鯨で賑わっていた頃六条町の国道沿い一帯にトドが押し寄せてきた。鯨を待つトドが骨休めに上がっていた岩を「とど岩」と呼ぶようになった。
- ・ 鯨漁によるまちの繁栄とともに「龍昌寺」や「壽都神社」、「伊都岐島神社」など多くの神社仏閣が建設され現存している。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

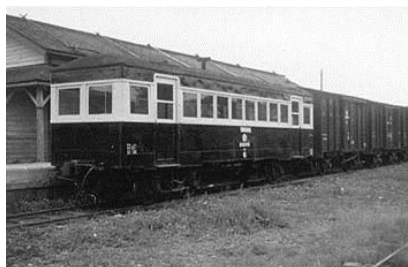
| 大分類 | 中分類  | 小分類        | 名称               | 所在地   |
|-----|------|------------|------------------|-------|
| 不動産 | 空間要素 | 遺跡         | 鯨漁・袋澗・船入澗        | 歌棄町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物        | 「漁場建築佐藤家」主屋      | 歌棄町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 「漁場建築佐藤家」土蔵      | 歌棄町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物        | 橋本家（旧お宿鯨御殿）      | 歌棄町   |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取に関わる場 | 有戸漁港             | 歌棄町   |
| 不動産 | 空間要素 | 流通・往来の場    | 磯谷海岸船着き場         | 磯谷町   |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取に関わる場 | 鮫取澗漁港            | 磯谷町   |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取に関わる場 | 寿都漁港（漁協）         | 大磯町   |
| 不動産 | 有形要素 | 建築物・工作物    | 鯨工場              | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食          | 鯨煮               | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 加藤水産加工場          | 六条町   |
| 動産  | 有形要素 | 漁業関連用具     | 鯨漁関連用具／丸胴        | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 漁業関連用具     | 鯨漁関連用具／ツナギツラ     | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 漁業関連用具     | 鯨漁関連用具／おもり       | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 漁業関連用具     | 鯨漁関連用具／モッコ（背負い箱） | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 漁業関連用具     | 鯨漁関連用具／こまざらい（熊手） | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 漁業関連用具     | 鯨漁関連用具／芯通し       | 開進町   |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承      | 寿都弁              | 寿都町全域 |

## D 寿都鉄道が運び育んだ文化

- ・ 「寿都鉄道」は寿都から黒松内、わずか16.5kmで停車駅も寿都、樽岸、湯別、中ノ川、黒松内の5つの駅のみだった。開通当初は「鯨」の輸送が主であり、「鯨」が獲れなくなった後は「寿都鉱山」で採れる鉱石の輸送も担っていた。
- ・ 寿都駅跡地には現在役場庁舎や体育館等が建設され、その姿は残っていないが、「駅標」や「乗車券」、「タブレット※1」、書類など寿都鉄道関連の資産が多く残されている。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類        | 名称         | 所在地   |
|-----|------|------------|------------|-------|
| 不動産 | 空間要素 | 流通・往來の場    | 寿都鉄道       | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 遺跡         | 鯨漁         | 歌棄町   |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取に関わる場 | 寿都鉱山       | 新栄町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具  | 駅名標        | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具  | タブレット※1    | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具  | 駅長室看板      | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具  | 寿都鉄道 営業報告書 | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具  | 寿都鉄道役職員名簿  | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具  | 寿都鉄道 優待乗車  | 開進町   |



寿都鉄道



駅名標



タブレット※1

### ※1 タブレット

鉄道の単線区間において、ある区間に1本の列車だけを通すために機関士に持たせた通行手形のようなもので、本体は鉄製の円盤である。丸、四角、三角の穴が開けられており、その区間内にその車両のみを通行させることにより列車の衝突を防いだ。

駅に存在するタブレット閉塞機にタブレットを収めることで、電氣的に他駅に伝え、駅間を列車が走行中であることを伝えていた。

この鉄製の円盤（タブレット）は、キャリアと呼ばれるホルダーに入れて運ぶ。

## E 壽都神社例大祭などの祭りの伝統文化

- ・ 300年以上の歴史を持つ壽都神社の「例大祭」。鯨仕事が一区切りついた7～8月に、各地域の神社のお祭りがあり、親方達のふるまいで盛大に行われた。
- ・ 例大祭では町内を約20km練り歩くが、練り歩いている方に対して、各家で飲み物や食べ物がふるまわれる「接待」という文化が根付いている。その際にはお祭り用の「酒器」や「汁椀」、「御膳」などが使用された。
- ・ 壽都神社例大祭における「奴」と言われる役では、顔におしろいを塗り独特な化粧をするのが特徴的である。
- ・ 300年以上前に松前藩の公式行事として広まった「松前神楽」は壽都町でも引き継がれている。

表 【壽都のお宝箱を構成する壽都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類    | 名称          | 所在地   |
|-----|------|--------|-------------|-------|
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 例大祭         | 壽都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 盆踊り         | 大磯町   |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 地区のお祭り      | 壽都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 弁慶まつり       | 壽都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 例大祭時の家の接待   | 壽都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 奴           | 壽都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承  | 奴保存会        | 壽都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 脚絆          | 新栄町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 酒器          | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 丸盆          | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 御膳          | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 重箱          | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 小皿          | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 汁椀          | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 祭り提灯        | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 奴用前掛け（赤布に奴） | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 奴用前掛（梅ヶ枝）   | 開進町   |
| 動産  | 有形要素 | 行事関連用具 | 祭用 かみしも 袴一式 | 開進町   |



壽都神社例大祭



弁慶祭り



奴用前掛け

## F 海の幸・山の幸から生まれた食文化

- ・ 昔から漁業が盛んな寿都町では旬の魚介類が獲れたが、それらの素材を活かしたさまざまな「水産加工の伝統」技術が続いている。寿都町の産業は水産加工業が大半を占め、その代表的なものとして「小女子の佃煮」があり、町内の水産加工場の殆どで作られている。
- ・ 鯺豊漁の時代は、多くの「干場」が町内各地にあった。
- ・ 最も多く獲れる魚の一つとしてホッケがあり、ホッケの「飯寿司」やご当地グルメとして「ほっけ飯」がある。2008（平成20）年には、沿岸の定置網での漁獲高が約1万トン日本一となった。
- ・ 寿都町は道内日本海では数少ないカキの生産地としても知られており、寿牡蠣は、生ガキが手に入りにくい4～6月に旬を迎える特産品であり、時期には海岸線にある「かき小屋」に多くの人を訪れる。
- ・ 春には行者ニンニクとしても知られている「キトビロ」などの山菜も豊富に採ることができる。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類         | 名称             | 所在地   |
|-----|------|-------------|----------------|-------|
| 動産  | 無形要素 | 技術          | 水産加工の伝統        | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | 新鮮な魚介類         | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | 三平汁            | 寿都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 技術          | 小女子干し          | 寿都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 技術          | 佃煮づくり          | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | 小女子の佃煮         | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | 飯寿司            | 寿都町全域 |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取にかかわる場 | 「旧歌棄佐藤家漁場」干場跡地 | 歌棄町   |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | ほっけ飯           | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | ごっこ汁           | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | どんじゃのり         | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物     | かき小屋           | 歌棄町   |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理        | キトビロ           | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物         | 山中のキトビロ群       | 政泊町   |



小女子の佃煮



飯寿司



ほっけ飯

## G 大規模漁業の親方衆とヤン衆が育んだ文化

- ・ 「カクジュウ佐藤家」は1852（嘉永5）年以降、当時道内有数の鯨場であった歌棄、磯谷地区を管理する場所請負人を松前藩からまかされた名家。カクジュウ佐藤家の建物は明治23年頃の建築物と推定され、鯨漁場建築に普遍的にみられる漁夫宿泊部を殆ど含んでいない点に特色がある。「漁場建築佐藤家」として北海道指定有形文化財に指定されている。
- ・ 構造材の組み立てに釘を使わない伝統工法による建築の橋本家「旧鯨御殿」は、旅館として営業していた時期もあったが、現在は営業しておらず、隣接する土蔵は改装され2017（平成29）年6月にそば処鯨御殿としてオープンした。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類        | 名称            | 所在地 |
|-----|------|------------|---------------|-----|
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 「漁場建築佐藤家」主屋   | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 「漁場建築佐藤家」土蔵   | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 遺跡         | 「旧歌棄佐藤家漁場」袋澗  | 歌棄町 |
| 不動産 | 空間要素 | 居住に関わる場    | 「旧歌棄佐藤家漁場」水路跡 | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 鯨御殿           | 歌棄町 |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取に関わる場 | 有戸漁港          | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 西光寺           | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 歌棄巖島神社        | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 龍昌寺           | 歌棄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 伊都岐島神社        | 磯谷  |



「漁場建築佐藤家」主屋



鯨御殿



西光寺

## H 朱太川が育んだ歴史文化

- ・ 朱太川周辺を中心に、大量に縄文期の「土器」や「石器」が発見され古代からの人々の営みの跡が見られる。アイヌの人々の「遺跡」の数多く発見された。
- ・ 湯別は現在寿都唯一の農村地帯となっている。土が良いという説もあり、寿都のジャガイモは美味しいと評判だった時代があった。現在も長芋や小麦等がつくられており、「のどかな農村風景」が広がっている。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類 | 名称        | 所在地   |
|-----|------|-----|-----------|-------|
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | 朱太川       | 樽岸町   |
| 不動産 | 景観要素 | 遺跡  | 朱太川遺跡     | 樽岸町   |
| 動産  | 有形要素 | 生物  | アオサギ      | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 生物  | ワシ        | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 生物  | 鳥         | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 生物  | ツバメ       | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 生物  | カモメ       | 寿都町全域 |
| 動産  | 有形要素 | 生物  | 磯谷の青バト    | 磯谷町   |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物 | ホダ木（湯別）   | 湯別町   |
| 不動産 | 景観要素 | 景観  | 湯別ののどかな風景 | 湯別町   |



朱太川



朱太川遺跡



湯別ののどかな風景

## I 交通の要衝として物と人が行きかった歴史文化

- ・ 1773（安永2）年に長万部から黒松内を経て寿都や磯谷に至る新道を開くことが急務とされ、1775（安永4）年に黒松内山道が通り、東海岸と西海岸の往来が便利となった。新道の開通により、沿道に住む人々も増えていった。
- ・ 明治期にはみどり橋が、戦後は栄橋ができたが、それ以前は渡し船が人と物を運んでいた。馬船といって馬車も渡した交通の要衝だった。
- ・ 旧樽岸小学校（当時、溪川小学校）附属の鮭漁場があり、学校の維持費は鮭漁場の収入と朱太川渡船場の収益を充てていたとの記録がある。
- ・ 「湯別の温泉」は明治初期から個人の旅館として存在した。現在のゆべつのゆとは違う場所であった。
- ・ 樽岸では1893（明治26）年から瓦工場で瓦を作り始め、寿都、岩内、歌棄の鯨蔵や建物にこの瓦が使われ、小樽の石造り倉庫にも運ばれていったと伝えられている。
- ・ 材料の粘土は樽岸の新道脇にあったものを用い、レンガ工場もあった。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類       | 名称      | 所在地   |
|-----|------|-----------|---------|-------|
| 不動産 | 空間要素 | 伝承にまつわる場  | 旧湯別温泉   | 湯別町   |
| 不動産 | 景観要素 | その他       | 湯別の湯    | 湯別町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 種前練場倉庫  | 歌棄町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 種前練場倉庫  | 歌棄町   |
| 動産  | 有形要素 | 食、料理      | サケ      | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 煉瓦工場    | 樽岸町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | レンガ倉庫   | 樽岸町   |
| 動産  | 有形要素 | 交通・通信関連用具 | 渡し船     | 樽岸町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 奈良時計店土蔵 | 渡島町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 三浦水産加工場 | 大磯町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 山一商店土蔵  | 大磯町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物   | 山下水産土蔵  | 大磯町   |



湯別の湯



種前練場倉庫



カネヤマジョウ三浦水産加工場

## J 行政と商業、人々の営みが生んだ文化

- 渡島町には明治期に町役場や警察署、寿都支庁、海館所などの各種官庁機関や公共施設が創立され、行政の中心地として発展してきた。また、「法華寺」、「善龍寺」、により「寺町通り」の一部が形成されている。
- 大磯町では明治後期には廻船問屋、呉服屋、寿都汽船株式会社などが商業地区を形成し、寿都町の中心として発展していった。明治、大正の「土蔵」造りの建物が残っている。
- 新栄町にはかつて渡島町から新栄町にかけて「三菱鉱山」があった（1962（昭和37）年閉山）。西寄りには「法界寺」、「龍洞院」、「願乗寺」が横一列に並び、渡島町と一体の「寺町通り」を形成している。更に山側に「菩提院」がある。
- 刺網漁が主体の漁師町である矢追町には「水産加工場」や倉庫が多く、番屋を改築した家も見られる。内陸部には広い土地を確保できることから「寿都小学校」や「寿都高等学校」が建てられている。

| 【当時の官公施設】   |
|-------------|
| ・ 寿都海官所     |
| ・ 寿都郡役所     |
| ・ 寿都支庁      |
| ・ 寿都区裁判所    |
| ・ 函館監獄署寿都支署 |
| ・ 寿都測候所     |
| ・ 寿都警察署     |
| ・ 寿都税務署     |

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類        | 名称       | 所在地 |
|-----|------|------------|----------|-----|
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 善龍寺      | 渡島町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 法華寺      | 渡島町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 寿都神社     | 渡島町 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物        | 寿都神社の桜   | 渡島町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 願乗寺      | 新栄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 法界寺      | 新栄町 |
| 不動産 | 空間要素 | 生産・採取に関わる場 | 三菱鉱山     | 新栄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物        | 寿都高校の八重桜 | 新栄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 酒本宅土蔵    | 岩崎町 |
| 不動産 | 景観要素 | その他        | 寺町通り     | 新栄町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 三浦水産加工場  | 大磯町 |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物    | 山一商店土蔵   | 大磯町 |



善龍寺（渡島）



法華寺（渡島）



寿都神社



## K 弁慶岬の景勝と伝説が生きる歴史文化

- ・ 弁慶の地名はアイヌ語の「岬の先端が裂けたようになっている」という意味の「ペルケイ」が訛って義経伝説に絡めたものと言われる。岬はその名をとって「弁慶岬」と呼ばれる。
- ・ 「弁慶岬」には、シンボルの「弁慶の銅像」と1890（明治23）年の建設以降（昭和52年改築）寿都湾を見守り続けている「灯台」、弁慶がアイヌ達と相撲をとったと言われる「土俵跡」、弁慶に投げ飛ばされたアイヌが鼻血を出して赤く染まったと言われる「赤岩」が残っている。
- ・ 「弁慶岬」に並ぶ2つの小高い丘が「二つ森」と呼ばれ、弁慶とアイヌにまつわる二つ森伝説が残っている。

表 【寿都のお宝箱を構成する寿都のお宝】（一部抜粋）

| 大分類 | 中分類  | 小分類      | 名称            | 所在地   |
|-----|------|----------|---------------|-------|
| 不動産 | 景観要素 | 自然物      | 弁慶岬           | 政泊町   |
| 不動産 | 空間要素 | 伝承にまつわる場 | 弁慶の土俵跡        | 政泊町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物  | 弁慶の銅像         | 政泊町   |
| 不動産 | 景観要素 | 建築物・工作物  | 弁慶岬灯台         | 政泊町   |
| 不動産 | 景観要素 | 景観       | 弁慶岬からの景色      | 政泊町   |
| 不動産 | 景観要素 | 景観       | 冬の弁慶岬からの矢追の風景 | 政泊町   |
| 不動産 | 景観要素 | 景観       | 弁慶岬の夕焼け       | 政泊町   |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承    | 弁慶太鼓          | 寿都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承    | 弁慶音頭          | 寿都町全域 |
| 動産  | 無形要素 | 民俗・伝承    | 弁慶まつり         | 寿都町全域 |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物      | 赤岩            | 政泊町   |
| 不動産 | 景観要素 | 自然物      | 二つ森           | 政泊町   |



弁慶の銅像



弁慶岬灯台



弁慶まつり